

データ・グラフで見る新型コロナウイルス

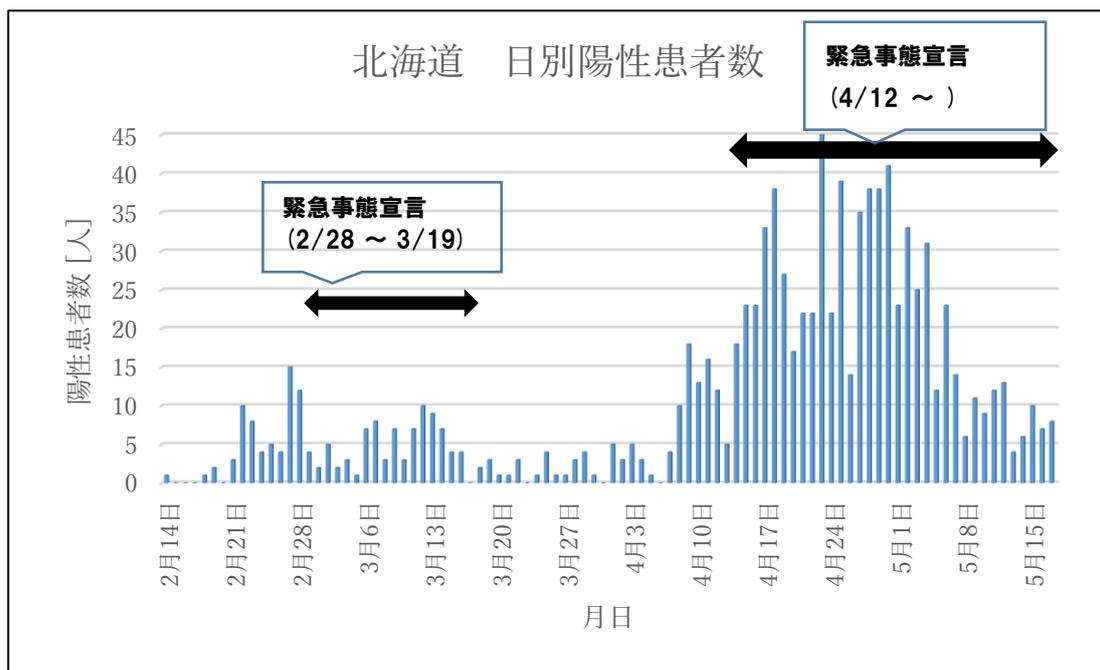
連日、新型コロナウイルスについての報道がされています。みなさん、ニュースや新聞を見て、正確な情報を得ることはできていますか。正しい知識を得るためには、データやグラフなどの数字を見るのが大切です。

なぜ大切か。まず、数字は客観性があります。人の感情や偏見に左右されません。「誰かが言っていた」「噂になっていた」など、曖昧な意見や偏った見方を鵜呑みにすると、間違った判断や理解につながる恐れがあります。客観的に物事を見て、論理的な考え方をできるようになりましょう。

次に、持っている知識を活用してデータやグラフを解析する力は、大学入試で求められる力の一つです。「センター試験」から「大学入学共通テスト」に名前が変わり、表やグラフを読み取って解くという問題が増えることが予想されます。入試で課す小論文のテーマを、新型コロナウイルス関係にする大学も出てくるのではないのでしょうか。大学入試で問われるということは、これからの社会人として必要な力だということです。

以上の理由から、新型コロナウイルスについてデータ・グラフなど数字の観点からアプローチすることは、みなさんにとって大事だと思います。いくつか例を挙げるので、新型コロナウイルスについて考えを深めてみてください。

○ 北海道について



北海道オープンデータポータル (<https://www.harp.lg.jp/opendata/dataset/1369.html>) より引用

上のグラフを見てください。北海道は独自の緊急事態宣言 (2/28 ~ 3/19) が出されました。解除された約 2 週間後から陽性患者が急増していることがわかります。次の緊急事態宣言 (4/12 ~) が出された後も、約 2 週間たつと陽性患者が減少していることが見て取れます。このことから、ウィルスの潜伏期間を予想することができます。

○ 国別の感染状況

右の表は感染・死亡者の人数をまとめたものです。この表からみなさんはどんなことを読み取りますか？

まず、ロシアの死亡率（死者／感染者 × 100）が圧倒的に低いことが目に付きます。ロシアの現状について、気になる人は調べてみてください。

次に、ドイツの死亡率の低さも気になるどころです。同じヨーロッパ圏のイギリス、スペイン、イタリア、フランスと比較すると、死者数が一桁違います。ドイツはどんなコロナ対策をしたのでしょうか。

他の国の状況、取り組みを参考にすることで、コロナ早期収束への手がかりがつかめるかもしれません。

	感染者	死者	死亡率
アメリカ	1,467,884	88,754	6.0%
ロシア	272,043	2,537	0.9%
イギリス	241,461	34,546	14.3%
ブラジル	233,511	15,662	6.7%
スペイン	230,698	27,563	11.9%
イタリア	224,760	31,763	14.1%
フランス	179,630	27,532	15.3%
ドイツ	175,752	7,947	4.5%
日本	17,077	769	4.5%

各国感染・死亡者数 (5/17 17:00 現在)

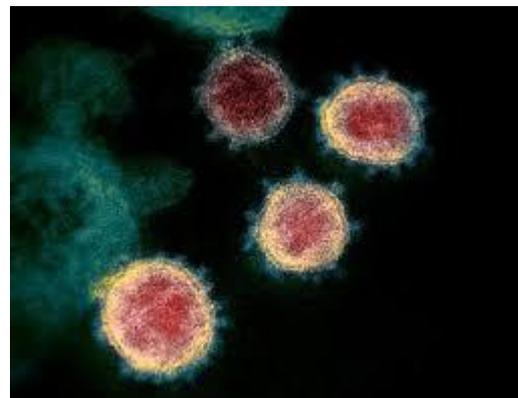
○ PCR 検査について

新型コロナウイルスの陽性、陰性の診断には PCR 検査が用いられています。日本では検査数が少なく、感染者数を正確に追跡できていないことがコロナ感染増大の一端を担っているという意見が多くあります。しかし、検査数を伸ばせば解決の方向へ向かうのかというと、そう簡単ではないようです。

PCR 検査の陽性率（感染者が陽性と判断される確率）は **70%** と言われています。つまり、100 人中 30 人は陽性と診断されたが、**本当は感染していない人**ということなのです。

一方、陰性率（感染していない人が陰性と判断される確率）は **99%** と言われています。正確性が高く見えますが、100 人中 1 人は陰性と診断されながら、**本当は新型コロナウイルスに感染している人**ということになります。

検査数を何万人、何十万人と増やせば増やすほど、誤った診断を下される人も増えてしまいます。PCR 検査の他に抗体検査も導入されていますが、抗体検査の確度は PCR 検査よりもさらに低いそうです。検査数を増やすことはリスクもあるということですね。



休校中の過ごし方、課題への取り組みについて

話は変わりますが、休校、分散登校により家で過ごす時間が増えました。登校したみなさんの様子を見ると、ずいぶんとその過ごし方に差があるように感じました。

具体的に言うと、課題への取り組み方です。間違っているところは赤ペンで修正、何回も解き直し、答えだけでなくその解説まで書き写すなど、しっかり自分の勉強のために課題に取り組んでいる人が何人もいました。素晴らしいです。一方で、雑に書き殴って読めない字、明らかに答えを写しただけの解答など、人によって大きな差がありました。

家に長くいることでメリハリがつけづらく、課題の量も少なくないことから、取り組みが大変なことは理解できます。しかし、こういう状況でこそ、自分の本質が試されていると思ってください。時間を上手に使い、前向きに課題に取り組むべきです。